

私の視たる米國の幼稚園教育

堀 七 藏

二

一、

既に述べたのでありますが歐米諸國の民族は主として游牧生活をしてゐたものであります。試みにヨーロッパの歴史を繙くと是等の民族が水草を追ふて牛馬と共に移動し、所謂民族の移動が盛に行はれたものであります。北から南に、東から西に、絶えず民族の移動が行はれてゐるのであります。北方の寒地にゐた慄悍なる民族ノルマン人はノルウェー、スウェーデン邊にゐたが數々南下してデンマークに移り、更に獨逸やフランスの海岸に出没したのであります。第五六世紀の頃サクス、アングル、ユートの三種族が英國で七王國を立てたのが今日の英國民族アングロサクソンであります。しかし八八四年頃ノルマン民族の一種デイン人が英國を侵したことがあり、英國人にはノルマン人の血が加つてゐるものがあります。蒙古人種の一種マチャル族は八九八年ドイツに侵入した事があり、テムチンは一二〇六年ヨーロッパに侵入したので今日でも蒙古人種がハンガリ地方に居住してゐます。スラブ(ロシア)民族でもチウトン(ドイツ)民族でも絶えず東方より壓迫せられて西に向つて移動しラテン民族は常に東より追詰

められるといふ有様であつたのでありませう。

コロンブスがアメリカを初めて発見したのが一四九二年であります。アメリカ植民はズット後のことでもあります。コロンブスは前後四回もアメリカに航海してゐますが新大陸であることを悟らず、アジアの一部と考へてゐたものであります。ところが一五一三年バルボア氏が初めて西に太平洋のあることを発見し、これより追々探検が行はれて終にアジャとは別の新大陸であることが分つたものだと申します。イタリー、フロレンスの人アメリゴ、ヴェヌブツチは數々新世界に航しその圖を製しその記事を表はしたのであります。ドイツ人マルチン、ワルツミュレルがこのヴェブツチを尊敬するの餘り、新地の圖に彼の名をとり、アメリカと記したのが起原となつてアメリカの名稱が一般に使用せられるに至つたものであります。

その後ヨーロッパ各國は争つて探検に従事し、従つて発見すれば従つて植民したものであります。しかし當時英佛は左程活潑に探検をしなかつたから得る所が少くあつたが、スペイン、ポルトガルの二國は卒先して探検し各所に植民したのであります。次いでオランダ、フランスもアメリカに多大の勢力を占め植民政策に甚だ熱心でありました。所が一七六三年バリの和議條約によつてイギリスはスペイン及びフランスより特に北アメリカに於て宏大なる領地を譲り受けましたから、これから英國人の移民が北アメリカに多く行はれた譯であります。しかし英國はフランスとの戦争によつて生ぜる財政困難を救ふ

ためアメリカの植民地に課税せんとした所、茲にはしなくも獨立戰爭が起つたのであります。元來北米十三洲の植民はもと英國に於て宗教及び政治上の自由を妨げられることを忌みて移住したものでありますから、獨立の精神が盛であり英本國がその利益を壟斷することを悦ばず、終に一七七六年七月四日のフイデルフイヤに於ける獨立の宣言となり、七年の血戰を経て一七八三年獨立が認められて茲にアメリカ合衆國が建設せられたのであります。ワシントンはこの獨立戰爭に於て主將となり第一回に大統領となつた人、アメリカ合衆國建國の元勳であります。これに次いでスペインの屬領にもメキシコ、ペルーアルゼンチン、チリー等が獨立して共和國となり、ブラジルもポルトガルに反きて帝國となりましたから御承知の如く一言にアメリカといつても南北アメリカ共に多くの獨立國があります。しかしアメリカとか米國といへばアメリカ合衆國をさすことは無論であり、私の視たアメリカは只アメリカ合衆國の中央地帯だけであります。

アメリカ合衆國は一八一二年の戰爭により、また一八四六年メキシコとの戰爭によつて著しく領土を擴張し、更に一八六一年より六年間にわたる南北戰爭によつて統一せられて今日のアメリカ合衆國が出来たのであります。その後ハワイ王國を併合し一八九八年にスペインと戰つてフィリッピンを領有するに至つたのであります。

アメリカ合衆國の幼稚園教育を説明するに當りアメリカ合衆國の大勢を述べる必要があります。アメリカ合衆國が如何なる國か、どなたも大體御承知でありますが、その國情を明白にせぬと誤解を來す場合が甚だ多いのであります。今日アメリカ風の悪い所が眞似られ流行してゐるのはその根底にアメリカ合衆國を十分理解しないことが一原因をなしてゐると考へられます。

アメリカ合衆國は總面積七百八十萬平方料でわが日本帝國の總面積六十八萬平方料に比べてザツト十二倍あります。それで人口は一億五百七十萬。我が國の人口八千三百四十五萬よりも僅かに二千萬人多いだけであります。それですから我國は一平方料につき人口密度百二十二人・六分であります。アメリカ合衆國では僅かに一三人・六分しかありません。アメリカ合衆國は大國でありますから、四種の標準時があります。吾々日本人から見れば誠に驚くべきであります。ニューヨークから西に來ても、サンフランシスコから東に行つても、汽車の中で時刻が一時間とぶことが三回もあるから面白い位であります。何しろアメリカ合衆國は東と西とで大變經度に相違があります。試みにアメリカ合衆國の大都市の經度及び緯度人口を表示いたしませう。アメリカ合衆國の東から西に列擧いたしますが、これは我が日本からは反對に遠い所から近い所に及ぶ譯になりますから豫めその積りで考へて頂きます。

都會名

經度

緯度

人口(二十六年)

六

ボストン	西 七一度 三分	北 四二度 二一分	七八萬、〇
ニューヨーク	七三度 五八分	四〇度 四五分	五九二萬、〇
フィラデルフィヤ	七五度 九分	三九度 五七分	二〇〇萬、〇
ワシントン	七七度 四分	三八度 五五分	五三萬、〇
シカゴ	八七度 三六分	四一度 五〇分	三〇五萬、〇
セントルイス	九〇度 一二分	三八度 三八分	八三萬、〇
ロスアンゼルス	一一八度 一五分	三四度 二分	一三〇萬、〇
サンフランシスコ	一二二度 二五分	三七度 四八分	五六萬、〇

右の表でも分るやうにニューヨークは西經七十四度であるが、サンフランシスコは西經百二十二度でその差が四十八度もあります。經度十五度に對して一時間の時差を生ずる譯でありますから、アメリカ合衆國で四種の標準時を必要とする理が明白となりませう。それで西經七十五度を標準とする東部標準時と西經九十度を標準とする中央標準時と更に西經百五度を標準とするマウンテンタイムと西經百二十度を標準とする大平洋標準時とあります。ニューヨーク邊で使はれてゐる時刻がシカゴに來ると一時間おくれですし、更にグランドキャニオンなどでは二時間おくれ、サンフランシスコに來ると三時間お

くれ、ニューヨークとサンフランシスコでは標準時に三時間の時差があるのであります。

更に右の表を注意して見るとボストン、ニューヨーク、シカゴは北緯四十度以北にあります。が他は多く北緯三十七八度であります。我が國で青森が四十度四十九分、室蘭が四十二度十九分、札幌が四十三度四分、秋田が三十九度四十三分、山形が三十八度十五分、仙臺が三十八度十六分、福島が三十七度四十五分であるのに比べると大抵似寄つてゐます。従つてアメリカ合衆國の大都市は北緯四十度を中心とせる五度の線内にあるもので、わが北海道及び東北地方に比敵するのではありません。アメリカ合衆國はかく領土が廣く、しかも我が國のやうに山地が多く平野が少いのと異り、廣漠たる大平原であります。勿論砂漠や不毛の地も少くないがミスシッピー河流域などは肥沃な大平原でありますから牛馬豚緬羊などの放飼をなすには至極好適な國であります。ヨーロッパよりの游牧民族が發展するには申分のない地方であります。次に牧畜業の有様を統計の數字で示すことにいたします。参考にブラジル、オーストラリヤも附加いたします。

國名	年次	牛	馬	豚	緬羊
日本帝國(内地)	一九三三	一、四九九、三九	一、五九一、五九一	六六七、八〇〇	一四、九六〇
アメリカ合衆國	一九四〇	六六、八〇一、〇〇〇	一八、二二三、〇〇〇	六五、五〇一、〇〇〇	三六、三六一、〇〇〇
ブラジル	一九二〇	三四、二七一、三四	五、二五三、六九九	一六、一六八、四九九	七、九三三、四三七

オーストラリヤ

一五三

一三、三、五七、五八

二、三、三、七、四〇

八七、八四

八〇、一〇、四六

八

この表を注意するとアメリカ合衆國の牛馬でも豚でも緬羊でも我が國とは實に桁違で殆どお話にならぬ位であります。牛は我が國の五十倍、馬は十五倍、豚は實に百倍、緬羊に至つては二千七百四十倍といふ有様であります。従つて羊毛の産額はアメリカ合衆國が世界第一で、實に九億萬噸、英國の四千八百萬噸に比し優に二十倍の産額であります。農業は我が國と異り棉花、玉蜀黍、燕麥、小麥、馬鈴薯等を栽培し收穫するのでありますから大農主義であることは勿論であります。我が國から移民した人達が米作もなし野菜類の栽培を盛にやつてゐますが茲に游牧民族と土着民族との差異が著しく現はれてゐることは申すまでもありません。

アメリカ合衆國は天産物に富み、銅でも鐵でまた石炭でもその産額は素張しいものでありますし、石油と鹽とに至つては世界第一、世界石油産額の六割がアメリカ合衆國から産出するといふに至つては只驚く外ありません。それでアメリカ合衆國は天恵の豊富なる上に、技術能率の増進新式機械による大規模生産設備の發達、販賣方法の新研究等が常に企てられてゐるから工業は近時著しく發達してゐます。到底貧弱な我が國などがより附けも出来ない位な富力を有してゐるのであります。

アメリカ文明のバンドは北緯四十度を中央とした南北五度の間にあるといつても差支ないのでありますが、是等の地方の氣候はまた我が國と大に異なる所があります。矢張面倒でも氣温表と溫度降水量表とを示す必要がありませう。

	ポストン	ニューヨーク	ワシントン	シカゴ	サンフランシスコ	東京
一月	零下二・八	零下〇・五	一・一	零下四・三	九・八	三・〇
二月	零下二・二	零下〇・八	一・一	零下三・二	一一・二	三・七
三月	一・二	三・一	六・〇	一・三	一二・一	六・九
四月	七・三	九・五	一二・一	七・九	一三・〇	一二・七
五月	一三・六	一六・〇	一八・〇	一三・三	一三・六	一六・五
六月	一九・一	二一・一	二三・一	一九・二	一四・四	二〇・五
七月	二一・八	二四・〇	二四・七	二二・五	一四・五	二四・一
八月	二〇・六	二三・〇	二三・六	二二・一	一四・八	二五・五
九月	一六・九	一九・四	二〇・一	一八・五	一六・二	二一・九
十月	一一・一	一三・二	一三・六	一二・二	一五・九	一五・九
十一月	四・八	六・七	七・五	四・五	一三・六	一〇・五

十二月	零下〇・五	一・三	二・四	零下一・一	一〇・四	五・三
平均	九・二	一一・四	一二・七	九・四	一三・二	一三・九

この表を見ると、さすがアメリカ大陸程あつてボストンでもニューヨークでもシカゴでも一月二月三月十二月が著しく寒冷なことが分りませう。しかしサンフランシスコは實に不思議な氣候で、十二月でも七月でも殆ど變化がなく、年中春で、冬もなく夏もないのであります。同じくアメリカ合衆國でもフロリダ地方に行けば著しく暑いのであります。ヨーロッパから移住したものが發展した地方が自ら氣候に支配せられてゐるのも興味あることであります。英國獨逸ポーランドロシヤ、瑞典、諾威の人々がアメリカ合衆國の北部に多く、フランス、イタリー、スペイン、葡萄牙等の所謂ラテン民族はメキシコからフロリダ、サンチイゴなどの南方に多く居住するのも氣温の關係であります。我が同胞が主としてロスアンゼルスを中心とする南カリフォルニア、テキサス、フロリダ等南方諸洲に比較的多く發展し野菜物などの栽培に全力を注いでゐるのも氣温に支配せられてゐるのであります。大體論からいへば游牧民族としての白人は四十度附近の牧場平原に多く分布し、土着民族である黄色人が六十五度附近更にそれ以南の農耕の地に力強い勢力を得てゐるのであります。

一般にアメリカ合衆國は乾燥してゐます。所によつて相異もありますが年中殆ど平均した温度であります。東京のやうに冬季は著しく乾燥して夏季には温度が大であるのと異り、年中平均してゐるとはい

ふものゝ、冬季が稍々温度が大なる傾があります。冬季温度が大なるときは氣温が低くとも寒氣が著しく身にしみません。また夏季乾燥してゐるときは氣温が高くとも凌ぎよいのであります。近年夏の氣温が高くニューヨークなどで死ぬものがあると新聞電報などに見えますが、これは主として白人の皮膚が弱く寒氣に比較的に耐えるが、暑熱に抵抗する力が弱いからであります。しかしまた夏季氣温が高くなり乾燥してゐるから、發汗著しく食物は水分の少いパン食といふ關係などから體內水分の欠乏で日射病にかゝるものが多い結果死亡するものを出す譯であります。尙ほアメリカの氣候では問題とならぬ鐵筋コンクリートの建築も我が國では大に講究を要するのであります。濕氣の多い我が國で窓も少く、壁も厚い鐵筋コンクリートが著しく問題になるのは當然であります。またアメリカで發達した建築様式は氣温も温度も大に異なる我が國で直に模倣出來ず降水量の著しく相異することも、大に考慮せねばなりません。左に降水量を比較いたしませう。我が國は島國でありますから雨量の多いこと驚くべきもので、ヨーロッパのどこよりもまたアメリカ合衆國の何地よりも降水量が大であります。

	ポストン	ニューヨーク	ワシントン	シカゴ	サンフラ	東	京
一月	九四	九〇	八六	五三	一二五	五五	
二月	八九	九〇	八四	五五	九一	七三	
三月	一〇四	九五	九八	六二	八二	一〇八	

四月	九七	八六	八一	七〇	三七	一三三
五月	九四	八二	九二	九三	二〇	一五五
六月	七九	八四	一〇八	一二八	五	一六四
七月	八九	一一一	一一六	一七四	一	一三八
八月	一〇七	一一二	一〇九	一七二	一	一六六
九月	八五	九〇	八六	一二九	一〇	二三五
十月	九四	九九	七七	九七	二七	一九五
十一月	一〇四	七九	六三	六四	六〇	一〇〇
十二月	九七	八七	八二	七四	一〇四	五三
全年	一一三四	一一〇五	一〇八二	一二四七	五六三	一五七四

ニューヨークでもワシントンでもまたシカゴでも、雨季は六七八月にありますが、サンフランシスコは十二、一月が雨季で七八月頃は殆ど無雨といふ有様であります。東京がどの都會よりも降水量が遙かに多いことは建築方面に餘程考慮をせねばならぬことであります。

アメリカ大陸は世界各國の移民地であります。アメリカ合衆國がヨーロッパの移民で今日を致してゐることは既に述べた通り。而して一億のアメリカ合衆國民は我が國の如く單純な一族ではないのであります。尤も我が國でもアイヌや朝鮮人支那人と三四種の民族を混じてゐますが、アメリカ合衆國は實に世界各民族の寄合であり、合衆であります。一九二〇年の統計を見るとアメリカ合衆國民は

白 人 九、四八二萬人 ネグロ 一、〇四六萬人

インヂアン 二四萬人 支那人 六萬人

日本人 一一萬人

であります。それで白人九に黒人及黄色人一の割合であります。

更にこの白人とても二種に分れます、それはアメリカ産のものと、他國産のものであります。アメリカ産の白人は父が祖父の代にアメリカ合衆國に移住したものでありますし、他國産のものといふのは當人がアメリカ合衆國に移住したものであります。アメリカ産の白人は八千百十萬人で、他國産の白人が一千三百七十萬人でありますから、白人の八割はアメリカ産、二割他國よりの移民であります。更にこの他國よりの移民もヨーロッパ各國からのものであります。統計表に上がつてゐる國だけでも四十餘ヶ國。その中最も多いのは英、獨、伊、露、奥の諸國、更にポーランド、瑞典、チッコスローバキヤ、諸威等であります。従つて一概にアメリカ人と稱しても世界各國人を包含してゐる譯であります。試に

女子のハイスクールなどを參觀するとその頭髮の多種多様なる、誠に驚く外ありません。縮毛でどうにも伸びないネグロの頭髮、それから房々した金髪、すじめの巢をつくりの赤毛をおかつぱにしたのなども誠に異様な人種展覽會、頭髮陳列室といつても差支ない位であります。それでよくいへば進取の氣象に富んだ人々の集合、惡くいへば世界の浮浪人、ヨーロッパの喰ひあましものが過去百年間に發展してゐるのがアメリカ合衆國であります。

アメリカ合衆國では人口百萬以上の都會が五、五十萬以上の都會が十四、三十萬以上の都會が二十五二十萬以上が三十八都市。更に十萬以上の都市が八十もある位でありますから人口の都市に集中してゐることは甚だしいのであります。尤も英國は世界第一に人口が都市に集中してゐますし、獨逸も亦甚だしいのであります。アメリカ合衆國も人口の都市集中は著しい現象であります。我が國の如く土着民族で田地を周圍に控へた農業國でさへ近時工業の發達につれて人口が都市に集中する傾向が著しく大となつてゐるのでありますからアメリカ合衆國などは一層甚だしい譯であります。牛馬緬羊などを放飼する牧畜業者は村落に生活せねばならぬ必要がないのであります。いろ／＼の必要便利等から都會生活をなすものが多く、工業の發達は一層人口の都市集中を促進してゐる次第であります。それでアメリカ合衆國では村落の小學校は自動車で生徒を集めて學校に送り、更に自動車で生徒を學校から家庭に歸らしめねばならぬ所が甚だ多いのであります。

アメリカ合衆國のハイスクール。ハイスクールは我が國の中學校に相當するものでありますが、その僅かに七%が第一級、十%が第二級、残りの八十三%が第三級に屬するものであると申します。第一級のハイスクールとは人口平均十一萬二千の居住者を有する都市にあるハイスクールで一千二百の生徒を有し、三十七人の教師をおき、それ／＼専門學科を教授し得る比較的優良な學校であります。第二級に屬するハイスクールは人口一萬五千の居住者を有する町にあるもので、生徒は百六十五人、教師七人、一教師が類似の數科目を教授する程度の學校であります。第三級のハイスクールは人口平均六千三百六十の居住者を有する村落にあるもので、生徒は七十人、教師は四人、一教師が五六科目を受持つ學校であります。しかも是等の學校に集まる生徒は世界各國の人種民族を網羅するといつた有様でありますから中々大變であります。尤も類を以て集まることは東西を通じての眞理でありますから、一部落をなすものは同一民族が、近い民族であることもありませう。それは支那人日本人などの多く住む町があり、イタリー人、猶太人の部落のあるのを見ても分りますが、白人は黄色人種に比べて游牧の民なるが故であります、群落をなす性質に乏しいやうであります。

兎に角人種の多様なるだけ宗教も異り言語も異なる所謂合衆國であります。是等を一團として統一することは甚だ困難であります。それで教育制度などは洲によつてそれ／＼異り、四十八洲悉く違つてゐるし、また各村落によつて各都會によつて異なるのであります。我が國の如く小學校令があつて全國の小學

校が之に統一せられてゐるのは異ります。各小學校はその父母がなす教育の代理をなす所であつて各個人の必要を中心とした教育が施されてゐるのがアメリカ合衆國の教育であります。只洲は大體の取締をなすだけであり、アメリカ合衆國は各洲の教育に任せる外に規則も命令もないのであります。しかしアメリカ合衆國の先覺者は均しくアメリカ合衆國の住民、殊に他國よりの移民に對しアメリカナイズすることに非常な努力をせねばならぬことを鼓吹してゐます。アメリカの國語、アメリカの歴史、市民科等の教育に小學校もハイスクールも骨を折つてゐますし、大都市では夜間授業料なしで是等の教育を施してアメリカ化することに多大の經費を投じてゐるのでありますから幼稚園時代からこのアメリカナイズすることは至極重視せられてゐます。幼稚園から小學校にかけて毎日若くば毎週二三回必ず朝の集會を催します。ヨーロッパの學校幼稚園の如く宗教的の禮拜をするのではなく、日本フランスの如く修身訓話でもないのであります。アメリカ合衆國の國旗を中心としたアメリカナイズ運動の實行であります。合衆國の國旗を旗手が壇に運ぶと茲にアワーカーントリーを一齊に歌ふ。「吾等の國」は我が「君が代」に相當する合衆國の國歌、それを歌はしめて國家觀念を養ふことに努力してゐます。また二月二十二日のワシントン誕生日、二月十二日のリンカーン誕生日、七月四日獨立記念日などの國祭日にはアメリカ合衆國を表徴するため幼稚園でも保育室に萬國旗を吊して特にアメリカ國旗を強く印象させ、ワシントンのモニュメント、ワシントンの肖像、リンカーンの家、などを造らせたり畫かせたりしてアメリカ建

建國の由來アメリカ合衆國のよいことを小さい中から意識させる事に努力してゐるのであります。

五、

アメリカは女の威張る國、所謂女尊男卑の國で女權の最も伸長してゐる國であります。ホテルの廊下で女に遇へば見ず知らずの人に對しても男は帽子をとらねばならぬ。エレベーターに妻君が乗つてもその夫まで帽子をとらねばならぬ。婦人は帽子もとらず顎でしゃくるやうな挨拶をしても男は最敬禮をせねばならぬといつた有様はその一例でありませう。「アメリカで婦人の後について道路を横切ると全く危険がない」とは多くの日本人がアメリカで利用するところであります。五人に一臺といふアメリカの自動車のことでありますから、ひいて知らぬ顔、ひかれてひかれ損といふのがアメリカの道路であります。それが男に對してのこと。女に對して一寸でもかすつたり觸れたりすればサー大變、ひどい目に遇ひますから自動車はレーデイには細心の注意を拂つてゐます、それで婦人の後について行けば自動車にひかれる氣遣がないのであります。これはヨーロッパでも殆ど同様で女の後について道路を横切るのが安全であります。アメリカでは一層女子尊重でありますから好都合であります。尾羽を廣げた孔雀の後について行く雌の孔雀反對の現象かも知れませんが兎に角事實であります。

一體我が國では女一〇〇について男の割合は内地が一〇一で、朝鮮が一〇五、臺灣が一〇六、帝國全版

圖を通じては一〇二であります。しかしヨーロッパ各國では女子超過で、女一〇〇に對する男の割合は英國が九・一四、獨逸が九三・〇、瑞典が九六・四、戦前ではあるがフランスが九六・六といふ有様で、とても全體に男が少く、女が多いのであります。女の少い日本で女を尊重せず、女の多いヨーロッパで女を尊重するとは一寸不思議にも思はれませう。尤も女が多いから威張るのであるといへばそれまででありませう。しかし土着民族たる我が國では女は弱いもの、之を保護するため女を家内に入れ、男が屋外に立つて敵を防ぐといつた譯。自然女を第二に置くのでありませう。游牧生活をする民族では女を敵より防ぐには逃がすに限る。男は後から女を保護するが爲めにレディヌファーストといふ習慣にもなつたものでありませう。世界どこへ行つても一般に女子が男子より弱く多く保護を要するのが自然であります。人格は男女によつて相異なくとも表面的には女尊男卑とも男尊女卑ともなりませう。兎に角アメリカ合衆國の統計では一九二〇年に於て男五、三九〇萬、女五、一八〇萬人でありますから女の百に對し男は一〇四の割合を示してゐます。またアメリカ生れの白人についていへば男四、〇九〇萬人に對し女は四〇二〇萬人、他國生れの白人では男七五三萬人に對し女は六一八萬といふ統計であります。こんな有様ですから女を大切にする男女が自然に威張るといふ結果になつたのであるといはれます。しかしアメリカ合衆國では男女共に自活する能力を具備してゐますから女は男子より獨立した生活をなすことが出来るから女權が伸長してゐるのでありませう、女が男に依存するやうな家庭生活をなさずして女子の自活

するものが多いことは女子の獨立で男子の干渉や保護を受けないので自然我儘にもなり威張るといふ結果にもなつたものでせう。

試に合衆國に於ける公立學校職員の統計を見ませう。一八九〇年に男十二萬五千に對し女が二十三萬八千人あります。この當時より女教師は男教師の際二倍、實教育の勢力は女子の手にあつたものであります。それが一九〇〇年には男十二萬六千で僅かに一千人の増加であります。女は二十九萬六千人で六萬人近い増加を示して居りませう。所が一九一〇年になると男教師は十一萬人に減少して女子が四十一萬三千に激増してゐます。これは男子が次第に工場に去り教育は女子の一手販賣となることを示してゐるのであります。歐洲大戰後の一九二〇年になると一層甚だしくなつて男は九萬七千に減少し女は五十八萬二千に増加して居ります。しかし一九二四年には多少男が増加して十二萬七千人に増加してゐますが女子は六十三萬人になつてゐます。即ち女教師五人に對し男師が一人といふ割合でありますから幼稚園は勿論小學校中等學校を通して女教師の全盛であります。男子で教育に従事するものはアメリカネグロかインヂアン。白人では工場で働けない不具者の如きものであります。従つて是等知識階級の婦人が合衆國婦人の思想を代表し婦人の地位を伸張するに偉大な力を持つてゐることは無論であります。

小學校教員中には男三九人、女二一人に博士號を有し、男一八八人、女二七五人は學士號、男七四九人、女二七九一人が得業士の學位を有するといふのでありますから大體に於てアメリカ合衆國の小學校

教師の力量が進んで居り、女にも立派な人々が教育事業に従事してゐるのであります。試みに合衆國に於ける大學カレッジの生徒數を検すると左の如くであります。

年次	男	女
一八九〇	四六、二二〇	二二、〇三六
一九〇〇	七五、四七二	三八、九〇〇
一九一〇	一一九、〇二六	六四、五四六
一九二〇	二二二、二四二	一三四、四五二
一九二四	四五七、七〇一	二六八、四二三

右の表を注意して見ると男女共に大學學生の増加は著しいもので、一九二四年には男子が四十五萬以上、女子が二十六萬人以上といふすばらしい數を示してゐます。是等の中には大學夏季の短期講習に於ける専門教育高等教育を受けたもの、數も含まれてゐるが兎に角著しい數であります。しかも男子の増加率よりも女子の増加率が非常に多いことも注目すべき點であります。

アメリカ合衆國に於ける女子の俸給といつても明白な統計が手に入らないが、ニューヨーク州に於ける統計によると女子初任のタイプストが十三弗から十七弗。熟練したタイプストは十八弗から二十七弗であります。また女子のセクリタリーは二十五弗から四十弗。小學校幼稚園奉職の女教師は三十弗から

五十弗といふのであります。そしてニューヨーク州で女子の平均俸給は十八弗であると申します。是等は勿論一週間の俸給でありますから一日當りが女教師ではザツト日本金の十圓から十五圓であります。しかしそれでも矢張生活難。男子などは大工、職工などよりも遙かに劣ると言はれてゐます。先づアメリカ合衆國を通じて小學校幼稚園の教員の年俸は二千弗及至三千弗、校長の年俸は四千弗乃至六千弗、それが日本金に換算すると倍額以上になることを記憶せねばなりません。

釣糸を上げし水輪や秋の風

樂堂